

令和4年度 三田市協働事業提案制度 「ええやん！やってみよっ！」

団体名： さんだ涙活プロジェクト

提案事業名： 涙活開催リアル&オンライン

涙活を通じて三田市で普及させたいことは「他者との繋がりを感じる」と「感情表現の発露」を多くの市民に知ってもらって、心豊かな生活を送ることの提案です。涙を流すことで心を整え落ち着きが生まれます。不安から逃れる為に能動的に涙を流すことが効果的だという論文もあります。涙活というムーブメントを三田でも広げたいのです。

必要性についてですが、コロナ禍で特に深刻だといわれる孤立・孤独にある人に対して、涙を流すことの大切さ、そこに関わる人と人のふれあいを提供することで、孤立孤独の深刻化を予防していきます。いきなり会場に来るのが難しくても、Web視聴の機会を設けることで、涙活へのアクセスを可能にします。

公共性については、誰もがいつ陥るかも知れない不安に対して解決や回避する方法を広く知らせしめることを第一の目標としています。涙活プロジェクトで紹介するさまざまなエピソードやメソッドが必要な人に届けることが潜在的な悩みを抱える人達にとって救いや安心につながります。

計画性について、今回の協働事業提案での充当があれば、動画の撮影と配信が可能になり、アーカイブ（記録）としての活用も可能になります。前年度の開催スケジュールをもとに今回の提案をしていますが告知して集客する期間としては十分にあります。登壇者への調整の期間も問題ありません。

協働性について、前年度から手探りで始めた涙活ですが共感してくださる人も徐々に増えていき、活動への理解と協力も増えてきました。今回の協働先は気鋭の映像クリエイター組織で効果的な動画に仕上げます。イベント企画では定評の盛り上げ隊が参画してくれます。また登壇者も教育の分野、芸術活動などジャンルを隔てることなくアプローチの方法と手段を持つ市民プレイヤーが多く集まってきています。今回開催以降も今年度のうちにも三田市社会福祉協議会、市民活動団体、市内の企業などともタイアップしてく予定です。